


### Ⅲ 新しいひとの流れをつくる

※事業費は決算ベース  
観光イベント事業

事業番号 1	しらかわキャラ市支援事業			決算額	9,500 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	9,500 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>ふくしまの子ども達に笑顔を届け、本県の元気を全国に発信することを目的に、全国のご当地キャラクターと本県の子ども達が触れ合う「しらかわキャラ市」を開催する実行委員会に対し補助金を交付し、県南地方の活性化と持続的な発展、観光客の誘致促進を図った。</p> <p>令和元年度は、石垣の復旧が完了した小峰城跡で実施し、天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいをみせた。</p> <p>開催日：9月28日(土)・29日(日)</p> <p>開催場所：小峰城跡</p> <p>参加キャラクター：97キャラ(団体) 東北地方最大のご当地キャライベント</p> <p>来場者数：72,000人(2日間合計)</p>					
					
				【しらかわキャラ市】	

### サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

事業番号 2	サイクルマップ作成事業			決算額	1,314 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	657 千円市債	千円その他	千円一般	657 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>既存のサイクリスト向け広域パンフレットである「自転車旅」を基に、女性サイクリスト目線によるパンフレット「自転車女子旅」を新たに作成した。各市町村内のカフェを中心に記載することで、女性サイクリスト層の獲得効果が図られた。</p>					
					
【自転車女子旅パンフレット】			【白河市内紹介ページ】		

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

事業番号 2	国内向けプロモーション事業		決算額	2,201 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	1,024 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,177 千円

[主な事業内容と成果]

「サイクルモードインターナショナル」(幕張)への参加や、やまなみ周遊ルートツアーを実施した。後者では那須ブラーゼンの選手及び自転車ブロッガーMIHO氏を招聘することで、国内サイクリストへのPR効果が図られた。

- |        |                 |       |        |
|--------|-----------------|-------|--------|
| ・日時:   | 11月2日～4日(幕張メッセ) | ・第1回: | 9月21日  |
| ・来場者数: | 25,810人         | ・第2回: | 10月26日 |
| ・出展団体: | 197団体           | ・第3回: | 11月23日 |



【サイクルモードインターナショナル2019】



【やまなみ周遊ルートツアー】

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

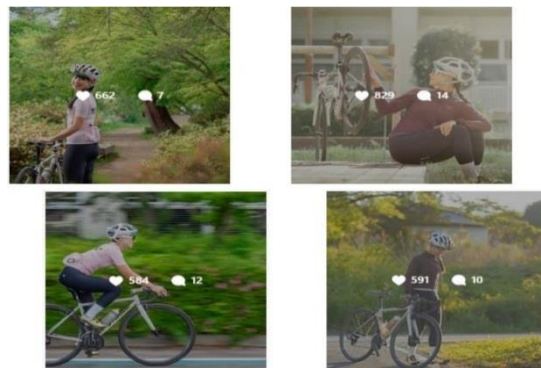
事業番号 2	インバウンド観光推進事業		決算額	2,030 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	1,015 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,015 千円

[主な事業内容と成果]

台湾の人気サイクリスト・インフルエンサーであるリンダ氏を招聘し、やまなみ周遊ルートモニターツアーを実施した。フォロワー数1万人超のリンダ氏のインスタグラムに9枚の写真が投稿され、全ての写真で500件以上の「いいね」を獲得し、インバウンド誘客効果が得られた。



【南湖公園の湖畔を走るリンダ氏】



【インスタグラム投稿内容】



事業番号 3	アジアインバウンド誘致事業	決算額	6,830 千円		
		所管課	観光課		
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	6,830 千円

**[主な事業内容と成果]**

ラグビーワールドカップや東京オリンピックの開催で交流人口が今以上に活発化されることから、本市の美しい自然、伝統文化、食、モノなど、全国に誇れる観光資源を、電子雑誌やパンフレットに掲載することで、国内外に向けて強く情報発信することにより、本市への誘客の促進、観光消費額の増大を図った。

○電子雑誌「旅色」(国内版、台湾版)に掲載

※旅色・・・自分らしさと美を求める大人の女性に、上質な時間を届け、新しいスタイルを発信する無料の電子雑誌

○冊子を作成(日本語版10,000部、台湾版5,000部)して、県内外のイベントや福島空港利用者に直接手渡しで配布した。



【旅色(日本語版)】



【旅色(台湾版)】



【市観光施設紹介ページ】

小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 4	小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業	決算額	千円		
		所管課	文化財課		
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	千円

**[主な事業内容と成果]**

国指定史跡「小峰城跡」の震災による石垣復旧工事が完了する平成31(令和元)年に向け、「白河集古苑」のガイダンス機能の整備を行い、市の歴史・文化財の情報発信の拠点とし、文化財を活用したホープツーリズムを推進するための施設として整備した。



【増築部分外観】



【小峰城ガイダンス展示】



【増築部分ロビー】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国	市債	その他	一般
小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業	・集古苑増改築 ・小峰城ガイダンス展示製作	304,769	152,320	122,400		30,049

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	二ノ丸御休処施設運営事業	決算額	千円
		所管課	観光課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他
		千円一般	0千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡である「小峰城」を含む城山公園内に立地する「二ノ丸御休処」において、市の特産品等を使用した物販や飲食の更なる充実を図るため、物販ブースと飲食ブースを区分するなど施設の増改築を行い、白河観光物産協会が運営を行っている。

施設来店者数 55,075人(改修前 39,054人)  
※16,021人の増加(目標 13,546人の増加)

施設売上高 25,328千円(改修前 15,416千円)  
※9,912千円の増加(目標 9,528千円の増加)

施設雇用者 8人(改修前 6人)  
※2人増加(目標 1人の増加)



【二ノ丸御休処】

空き家対策事業

事業番号 6	空き家対策管理事務	決算額	1,982千円
		所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他
		千円一般	1,982千円

[主な事業内容と成果]

平成28年11月より運用開始となった空家バンクの運営等を通して空き家の利活用を促進することで、良好な住環境の確保を図る。

○空家バンク制度の運営

公益社団法人福島県宅地建物取引業協会白河支部と協力し、空き家の中古住宅市場への流通の促進を図るため、空家バンクを運営した。

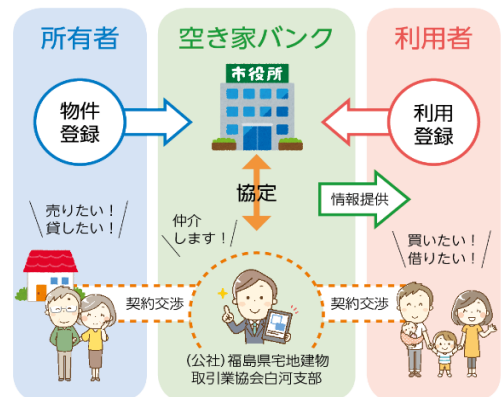
(令和元年度までの実績)

物件登録者数 50件 利用登録者数 90件  
契約件数 20件(売買13件、賃貸7件)

○空家改修等支援補助事業(令和元年度の補助実績)

改修補助1件(実績額1,500千円)

【空家バンク制度】



シティプロモーション推進事業

事業番号 7	シティプロモーション推進事業	決算額	3,469 千円
		所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他
		千円一般	3,469 千円

[主な事業内容と成果]

- シティプロモーション推進事業委託料 3,465千円
- その他経費 4千円

<職員向けセミナーの開催>

シティプロモーションの重要性と必要性について市全体が統一的な共通認識を持ち、様々な情報発信に取り組めるよう、市職員を対象としたセミナーを開催。シティプロモーションの課題やSNSを活用した広報等について学んだ。



【市民向けインスタグラムセミナー】

<市民向けセミナーの開催>

日常の情報収集の手段としてSNSが主流となっていることから、特に写真による訴求力に優れたインスタグラムに関するセミナーを開催。市民に白河の魅力を見せたいと、実際にSNSを用いて情報発信を行った。

- ・開催日: 令和2年2月8日(土)
- ・講師: 魅せるプロデューサー 本多美香氏
- ・参加者: 43人



おかえり、白河  
はじめてでもなつかしい

【シティプロモーションロゴ】

<白河魅力向上プロジェクト>

若者世代の白河市への愛着、誇りの醸成のため、白河市出身の高校生と大学生が主体となったプロジェクトを発足。白河の魅力を発信するための視点やヒントを学べるよう活動支援をした。活動内容をテレビ番組「僕らは伝えたい #白河街歩き写真館」として放映した。

地域おこし協力隊活用事業

事業番号 8	地域おこし協力隊活用事業	決算額	6,815 千円
		所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他
		15 千円一般	6,800 千円

[主な事業内容と成果]

地域おこし協力隊は、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度である。隊員が一定期間地域に居住し、地場商品の開発・PR、農林業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、定住・定着を目指し、地域の振興・活性化を図る取り組みである。白河地域、表郷地域、大信地域で各1名の隊員が活動を行った。また、県との協同による伝統産業(白河だるま)継承のための協力隊及び東地域協力隊の募集を行ったが、採用には至らなかった。

- 嘱託職員賃金 3,278千円
- 地域支援補助金 2,708千円
- その他経費 829千円

<地域おこし協力隊 小倉宗則> (白河地域)

活動内容(任期:H30.5.1~H31.4.30)

- ・マイタウン白河を活用したイベントの企画運営、情報発信
- ・中心市街地活性化

<地域おこし協力隊 飯塚俊輔> (表郷地域)

活動内容(任期:H30.7.1~活動中)

- ・情報発信(新聞、ブログ、ツイッター、ドローン等)
- ・小中学校の学習支援
- ・他地域おこし協力隊との交流

<地域おこし協力隊 嶋本雅之> (大信地域)

活動内容(任期:H29.5.1~R元.9.23)

- ・CoderDojo白河の企画運営
- ・イベントの補助



【プログラミング道場『CoderDojo白河』】 【災害状況をドローンで撮影】 【表郷中学校学習会の様子】

事業番号 9	まちづくり・ひとづくり事業	決算額	7,560 千円
		所管課	企画政策課
財源内訳	千円 国県 千円 市債 千円 その他 千円 一般		7,560 千円

**[主な事業内容と成果]**

将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとした多くの若者が集える場である、「コミュニティ・スペース」の運営を行った。

○コミュニティ・スペース運営委託料 7,560千円（委託先:一般社団法人 未来の準備室）

○地域を題材にした高校生ライター活動

白河地域の高校生による白河の魅力の発見・発信を支援するとともに、地域の人材との交流を創出した。また、高校生ライターに対し、フリーペーパーやウェブページの作成、地域の取材活動のノウハウなど技術的助言を行った。

○学習・キャリア形成支援

高校生等の進路相談に応じるとともに、イベントを通じて、専門性を活かした多様なキャリアや、地元に着目し地域を盛り上げるキャリアを持つ社会人・大学生と交流する機会を創出した。

○各種イベントの開催

- コミュニティスペースを活用し、若者、地域人材の交流を創出した。
- ・コミネス館長によるクリエイティブゼミ
- ・地域住民との協働イベント(選挙デビュー講座、alt\_cafe等)
- ・料理づくりイベント(EMANONバーベキュー、もちつき大会等) 他



【高校生のための進路相談カフェ】